

様式第6号その1 (第5条関係)

平成31年3月31日

三鷹市議会議長様

会派名 日本共産党三鷹市議会議員団

代表者氏名 大城美幸

平成30年度三鷹市議会政務活動費実績報告書

平成30年4月1日付け30三議第32号で交付決定を受けた政務活動費に係る収入、支出等に関する実績を、三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- |                            |            |
|----------------------------|------------|
| 1 交付決定を受けた額                | 1,296,000円 |
| 2 調査研究の成果及び収支決算書<br>別紙のとおり |            |



様式第6号その2（第6条関係）

調査研究の成果及び収支決算書

1 調査研究の成果  
別紙のとおり

2 収支決算書

(1) 収 入

項 目	金 額 (円)	説 明
1 政務活動費	1,296,000	27,000円×4人×12か月
2 その他の収入		
計	1,296,000	

(2) 支 出

項 目	金 額 (円)	説 明
1 研究研修費	252,020	第17回地方議会議員研修会参加費など
2 調査旅費	213,160	会派視察旅費など
3 資料作成費		
4 資料購入費	60,728	都政新報や書籍購入費など
5 広報費	303,534	議員団議会報告作成費
6 広聴費	469,771	議員団アンケート作成費、返信料
7 事務費	66,404	コピー機使用料、インク代など
計	1,365,617	

差引額（収入—支出）△69,617（支出超過分69,617円は会派負担）

## 調査研究の成果

- ① 日本共産党三鷹市議会議員団は、政務活動費を活用し、市政学習会を開催してきました。  
市政の課題である庁舎建て替えの問題点や、保育園待機児対策、高すぎる国民健康保険税の引き下げにむけて、均等割軽減を実施している自治体の調査を行い、研究してきました。全国でも財政力指数が35位の三鷹市が市民要求にどれだけ応えているのかの調査・分析などを行い、報告・学習会を開催し、市民に情報提供し、市民とともに「市民が主人公」の市政がどうあるべきかを議論してきました。
- ② 定例議会ごとに発行している日本共産党三鷹市議会議員団ニュースや全戸での議会報告と市政に関するアンケートに取り組みました。2018年秋に取り組んだアンケートでは、500人を超える市民から回答が寄せられ、「くらしが大変」、「税の負担が重い」という声が5割を超えていました。アンケートの結果をもとに、市議会の質問で取り上げ、市民のくらしの実態を告発し、寄せられた市政への要望を予算要望に反映させ、施策に反映するよう提案してきました。アンケートの結果についても、お知らせするニュースを作成し、配布しました。
- ③ アンケートの中から、特に国民健康保険税の子どもにかかる均等割について、子育て支援に逆行しているのではないかと市民からの意見を踏まえ、全国の取り組みや三鷹市の国保の実態を調査しました。平成27年度から低所得者に対する国からの財政支援として毎年9000万円、平成30年度からは、1000万弱の財政支援が追加され合計1億円の財政支援がある事も明らかになりました。この財源をもとに、2500万円の実現できる18歳未満の2人目以降の子どもについての均等割軽減について、日本共産党市議団が条例提案を2018年12月議会に提案しましたが、2019年2月、厚生委員会で条例の主旨を説明し各委員からの質疑に答え、3月定例議会で自公民の反対で否決となりました。実施に向けて引き続き、全国の取り組みや財源についての調査を継続します。
- ④ 乳幼児医療費助成や子どもの医療費助成について、所得制限の撤廃、窓口負担の完全無料化と対象年齢を18歳まで引き上げることを条例提案に向けて、調査・研究しました。条例提案を検討し、市長に申し入れを行いました。2019年度予算に、小学生についての所得制限が撤廃されることとなり、市民要望を反映させることができました。18歳までの医療費完全無料化について、引き続き調査・研究していきます。
- ⑤ 10月末に行った会派視察では、市政の課題となっている「庁舎・議場棟建て替えについて」と「LGBTの取り組みについて」をテーマに、視察をおこないました。庁舎建て替えでは、三鷹市と同じく不交付団体である事から22年に竣工した、愛知県刈谷

市の庁舎を視察し、地下の地震対策の4種類の免震装置も見せていただきました。財源の確保や市民から「100億円もいらないうらう」などの指摘をうけて、節約を徹底し、議場棟は特に簡素にしたお話や、職員の仕事のしやすさ、広さについては譲らなかったということなど具体的、かつ詳細な話を聞くことができました。庁舎建て替えにおいては、職員が働きやすい環境を整備すると同時に来庁する市民の使いやすさ、動線などきめ細かな視点、配慮が必要だということ、また、金額の根拠、節約、市民への説明を徹底させることが重要だということをも再認識しました。

LGBTの取り組みでは、愛媛県西条市の丹原東中学校を視察、人権教育としてLGBT当事者の話を聞き、学んだ事を地域の集まりで発表することで、地域の大人たちの意識も変えている取り組みに感銘しました。LGBTについて理解をしたことが他の障がい者や高齢者への配慮にもつながり、多様性を認め合うことにつながり、カミングアウトする生徒までいるということに驚くとともに、カミングアウトしてもみんながわかってくれるという信頼が築かれている教育・学校の取り組みに感銘を受けました。

視察で学んだ様々な取り組みを三鷹の中でも活かすべく、市議会の質問だけでなく、市民団体の集まりや様々な機会に視察の報告を行いました。

- ⑥ 自治体問題研究所主催の研修会と自治体学校に参加し、市政の政策課題となっている「公共施設等総合計画への対応と展望」や介護保険制度の問題について学び、議会質問に活かしました。
- ⑦ 8月に行われた全国保育団体合同研究集会に参加し、保育の質や保育士の処遇改善について学び、議会質問に活かしました。
- ⑧ 研修や視察で学んだ事、また市民からの要望や各団体からのご意見・ご要望をもとに、調査を行い、現場の声をもとに市議会での質問に活かし、市民の要求実現の大きな力になりました。